

協議会の強い味方!!



3名の改良アドバイザーが協議会に参加です。

令和7年度通常総会において『国産純粋種豚改良協議会 改良アドバイザーの委嘱に関する内規』が承認され、これに基づき3名の方に改良アドバイザーとして協議会に参加していただくことになりました。

今回改良アドバイザーをお願いした3名は長年、我が国において国産純粋種豚の維持改良・血統管理・その肉質の研究などに携わってきた方です。現役を一旦退いておられましたが、国産純粋種豚の改良推進のために、まだまだ活躍をしていただく必要がある方々です。

私達の取り組みに対して、時には厳しく、時には優しく。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



白石 千秋(しらいし ちあき)

生年月日 昭和34年11月21日

職歴

昭和55年3月 群馬県立農業大学校卒業
昭和55年4月 群馬県経済農業協同組合連合会入会
平成14年4月 全国農業協同組合連合会ぐんま入会
平成16年4月 (株)群馬県食肉卸売食肉市場入社
令和 5年6月 退社

経歴

平成27年6月 (株)群馬県食肉卸売食肉市場常務取締役就任
令和 4年6月 (株)群馬県食肉卸売食肉市場専務取締役就任

その他

- ・4年間の屠畜業務従事
- ・12年間の種豚生産、肉豚生産農場指導従事
- ・2年間の飼料設計から供給従事
- ・17年間豚肉加工から販売従事
- ・8年間食肉卸売市場経営従事
- ・昭和59年～27年 純粹種豚確保のため国内、アメリカ、デンマーク、韓国から購買・輸入従事
- ・上州銘柄豚肉生産基盤の確立従事
- ・「上州麦豚」「はつらつ豚・上州米豚・G1ポーク」等の販売確立従事
- ・「上州麦豚」「上州牛」「上州和牛」の輸出拡充のため EU・アジアへ出向いての販促活動従事

※現在勤務・無職

山口 雅敏(やまぐち まさとし)



生年月日 昭和 28 年 10 月 7 日

学歴

昭和44年4月 愛知県立新城高等学校農業科入学
昭和47年3月 同校 同科 卒業
昭和47年4月 愛知県立農業技術大学校入学(畜産専攻)
昭和49年3月 同校 同課程卒業(畜産専攻育種研究室)

職歴

昭和49年4月 社団法人日本種豚登録協会愛知県支部勤務
(愛知県養豚農業協同組合兼務)
平成11年6月 愛知県養豚農業協同組合へ転籍(団体統合)
平成20年4月 大津橋ビル運営委員会へ出向(管理事務局長職)
(午前大津橋ビル・午後養豚農協勤務)

平成25年3月 同組合退職(定年)
平成25年4月 同組合嘱託
令和3年6月 愛知県養豚農業協同組合嘱託退職
令和3年7月 大津橋ビル運営委員会勤務(管理事務局長)
現在に至る

公職歴

昭和61年4月1日
～昭和63年3月31日 新城市消防団喇叭隊隊長
平成29年4月1日
～令和2年3月31日 新城市横川公民館長(新城市生涯学習推進委員兼務)
平成31年4月1日
～令和2年3月31日 新城市東郷地区公民館長会会長
令和2年4月1日
～令和3年3月31日 新城市横川区区長
令和4年12月1日
～現在に至る 新城市民生委員・児童委員
令和7年2月5日
～現在に至る 市民後見人(愛知県東三河後見センター所属)
名古屋家庭裁判所豊橋支部へ市民後見人として登録
令和7年12月1日
～現在に至る 新城市民生委員・児童委員東郷地区協議会会長
令和7年12月1日
～現在に至る 新城市民生委員・児童委員協議会理事・副会長

免許・資格

昭和47年10月31日 一般毒物劇物取扱者資格(第2789号)
昭和48年8月14日 家畜人工授精師免許・豚(第1316号)
昭和48年12月14日 農業改良普及員資格(第1215号)
昭和49年2月14日 蚕業改良指導員資格(第90号)
昭和49年11月22日 社団法人 日本種豚登録協会登録委員
(審査委員 2342420・検定委員兼務)
昭和51年2月1日 社団法人 日本種豚登録協会代表審査委員(第44号)

昭和57年9月1日 社団法人 日本種豚登録協会検査員(第 2340142 号)
昭和57年11月2日 社団法人 日本綿羊協会山羊登録中央審査員(第 8 号)
平成3年8月10日 社団法人 日本綿羊協会綿羊登録委員(第 137 号)
平成17年12月16日 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会終了証
収集・運搬課程(第 105087020 号)
平成18年5月10日 社団法人 日本綿羊協会めん羊・山羊出生確認資格
(認定者コード№23900011)
平成18年5月30日 甲種防火管理講習修了証(第 1802116 号)
(甲種防火管理者)
令和6年12月7日 市民後見人養成講座終了証書(第 202409 号)
令和7年1月30日 認知症サポーター講座受講終了証(R6-18 号)

種豚改良関係事業への関わり

- 1 種豚登録講習会・審査実習開催の都度出席
- 2 代表審査委員講習会・審査実習開催の都度出席
- 3 登録委員として種豚審査・産子検定・子豚登記に従事(40年)
- 4 検定委員・検査員資格取得者に対する講習、実習指導(38年)
- 5 愛知県内登録委員・養豚関係機関、団体職員を対象とした種豚登録講習・審査実習を開催(5年に1回程度)
- 6 登録事務を担当する支所職員(女子職員を含む)・養豚関係機関職員を対象とした種豚登録実務講習会を開催(2年に1回程度)
- 7 輸入精液証明書発給規程の規定に基づき愛知県養豚農協を輸入代理店として登録し、アメリカから精液を輸入し、愛知県の系統造成及び種豚改良に寄与した。(5年間)
- 8 韓国・台湾への種豚輸出(5年・約300頭)、韓国からの種豚輸入(2年30頭)の窓口(愛知県養豚農協)となり輸出先の改良に寄与し、輸入種豚を改良の素豚として普及した。
- 9 種豚登録審査標準の改正及び種豚登録審査基準の制定に際し、代表審査委員として審査標準改正案の検討会へ参加及び審査基準の作成に委員として参加
- 10 愛知県農業総合試験場の系統造成(アイリス W2・アイリスD・アイリス L3・アイリス D2)の素豚輸入に際し、輸入の前年に試験場担当者を同伴してアメリカの農場と大学(ミネソタ・アイオワ)を視察、訪問し、予備選定と養豚事情調査を行い系統造成に寄与した。



小磯 孝(こいそ たかし)

生年月日 昭和 31 年 12 月 19 日

職歴

昭和 45 年 4 月 1 日 社団法人 日本種豚登録協会
入会
令和 7 年 3 月 31 日 一般社団法人 日本養豚協会
退会

経歴

日本養豚協会(旧 日本種豚登録協会)に入会し、45 年間種豚登録事業に従事、種豚改良の3本柱である血統、体型、能力に関する規程作成、体型審査、電算システムの構築等に貢献した。

日本養豚学会副会長、日本 SPF 豚協会認定委員、農林水産省、家畜改良センター等の改良関係委員なども歴任し、我が国の種豚改良に貢献した。

※現在勤務・無職

白石・山口・小磯アドバイザーに御連絡を取りたい方については、協議会ホームページお問い合わせフォームよりお願いいいたします。(簡単でかまいません。ご用件内容もご記載いただけますよう、併せてお願いいいたします。)

